

長中だより



第8号（平成29年9月13日発行） 発行者 校長 小貫 崇明

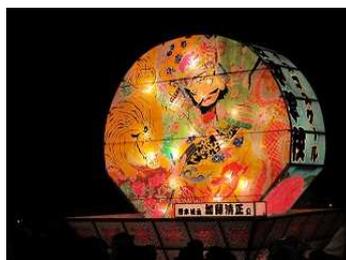
【9月の生活目標】

- ・友情を深め、充実した学校生活を送ろう。
- ・学校行事や新人戦で頑張ろう。

○「長沼まつり」～かっこいいぞ長中生！～

9月9日(土)、長沼地区最大のイベントである「長沼まつり」が開催され、長沼中の3年生がその中心となって躍動し、大いにまつりを盛り上げました。

当日の午前中に3年生たちは会場準備の係ごとに分かれ活動しました。また、暑い中保護者の方々にねぶたの山車を学校から会場まで運んでいただきました。夕方3年生は全員が浴衣に着替えスタート地点に集合。自分たちが気持ちを込めて作った「ねぶた」とともに金町通りを練り歩きました。よさこい踊りではかけ声も勇ましく、まさに「まつりの主役」として最高のパフォーマンスを見せてくれた生徒たちに、観客からは大きな拍手と声援が贈られました。



○岩瀬支部駅伝競走大会～男子Aチームが6位入賞！～



9月1日(金)に、鏡石町鳥見山陸上競技場周辺コースにおいて岩瀬支部駅伝競走大会が行われました。本校からは男子A・B、女子の計3チームで参加しました。結果は女子チームが16位、男子はAチームが6位入賞、Bチームは19位でした。各選手とも、早朝の練習や雨天時の送迎や応援してくれた家族や友だちへの感謝の気持ちを大切にして全力で頑張りました。その成果が出た立派なレースでした。また、Aチームの3年阿部燎君は、2区において新記録を樹立いたしました。

○岩瀬地区英語弁論大会～美しい発音と表現力を磨いて～

8月29日(火)、大東公民館にて開催された岩瀬地区英語弁論大会には、長沼中から3名の2年女子が出場しました。3人とも夏休み中英語科の先生やALTとともに練習を積み重ね、その成果がしっかり出た、美しい英語、そして豊かな表現力を感じる発表でした。中でも創作の部に出場した三島木琴子さんの「My Trip to Me」が、見事3位に入賞いたしました。他の2人も含め、次年度につながるすばらしい経験ができたと思います。



○特設合唱部、県大会で銀賞を受賞！



8月31日(水)、喜多方プラザ文化センターで開催された県下小・中学校音楽祭第一部(合唱)に参加した長沼中特設合唱部は、地区大会よりもさらに磨きのかかった表情豊かな演奏を披露し、見事銀賞を受賞しました。顧問の関根美恵子先生、ピアノ伴奏を努めていただいた鈴木由紀子先生も満足のいくすばらしい演奏だったようで、演奏を終えた生徒達の笑顔が光る大会でした。そして、帰りに食べた喜多方ラーメンの味は格別だったようです。

○小中一貫教育～子どもも教師も深まる交流～

【小中交流研修】

9月5日(火)、今年度から始まった小中交流研修を実施しました。今回は長沼中の音楽科・関根教諭が、長沼東小の先生方と音楽の授業を中心に実践研修をさせていただきました。6年生の音楽の授業では、関根教諭が美しい声の出し方を実際に歌って聴かせました。最初はびっくりしたり笑ったりしていた子ども達ですが、教師の発声をまねるうちにどんどん声がよくなり、澄んだ歌声になっていきました。次年度の長沼中1年生達は、本当に素直なよい子ばかりで、来年の4月が楽しみになりました。このような教科指導面での交流研修を計画的に進めてまいります。



【小中一貫合同陸上指導】

9月6日(水)の14時から、長沼小と長沼東小の6年生48名が長沼中学校に集まり、小中一貫教育の一環として合同の陸上指導を行いました。先輩として男女各2名の2年生が補助に入り、様々な陸上に関わる練習を学んでいきました。担当した長沼中の尾形亮祐教諭の指示にすぐ反応し、サーキットトレーニングなど陸上競技の要素を取り入れた動きを、元気よく走ったり跳んだりする6年生達の動きは俊敏で感動しました。6年生達にとっては来年度に向けて、よい体験になったのではないのでしょうか。



★大切にしたい言葉(8)「腕を上げるには、ネをあげないことだ」

「ネをあげる」は、漢字では「音を上げる」と書きます。もちろん意味は「弱音を吐く」と同じです。駅伝練習で朝から校庭を走る子どもたちを見ていたら、誰も弱音や不満を口にせず、友だちと一緒に笑顔で走っていました。さすがです！体力や技術を身につけたり結果を出すには、「ネをあげず」に頑張るしかない…そう子どもたちに教わったのでした。新人戦を前に、弱音を吐いている生徒はいませんか？弱気になっているチームはありませんか？そんな時はこの言葉を思い出してください。そして、本番に向かって最高に気持ちも腕も上げてください！！